

# 納得できない！ 柏崎刈羽原発の審査「合格」

## 原子力規制委員会に撤回を求めます

原子力規制委員会は、904件もの公募意見や国民の声に何ら答えることなく、昨年末の12月27日、柏崎刈羽原発6・7号機の安全対策が新規規制基準に適合しているとする「審査書」を決定しました。

福島事故の原因究明が未だ尽くされず、事故収束の見通しも立っていない中、また「日本の新規規制基準が世界最高水準というのとは論外だ。」(県技術委員会委員 佐藤曉氏)と専門家が指摘する中での決定です。福島第一原発と同じ沸騰水型であること、「適格性」が疑問視されている東電という同じ事業者であること、「敷地直下に活断層」の疑いがあること等々からも、安全とは程遠く、「合格」は受け入れがたいものです。

## 「検証なしに議論できない」と

### 米山知事きつぱり表明

規制委の「合格」を受け、今年に入り東電社長や政府の高官などが相次いで来県。知事と面会して「柏崎刈羽原発6・7号機の再稼働を進める」と伝えていきます。

これに対し米山知事は、「県の検証がなされない限り再稼働議論はできない」として、県として独自に柏崎刈羽原発の安全性に関する三つの検証を進めていく方針を重ねて表明しています。

「再稼働許さず原発ゼロに！」の世論と運動を大きく広げましょう

原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟(原自連)が  
素晴らしい「**原発ゼロ法案**」の骨子を発表！  
(骨子は裏面参照)

原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟は1月10日、国会内で記者会見し、「原発ゼロ・自然エネルギー基本法案」の骨子を発表しました。

原自連は、吉原毅城南信用金庫顧問が会長で、小泉純一郎、細川護熙元首相が顧問を務めている、脱原発運動を進める民間団体です。

幅広く与野党に支持を呼びかけ、国会で法案提出するよう求めました。

会見の席上、小泉氏は次のように語っています。

「安倍政権で原発ゼロは難しい」

が、必ず近いうちに国民の賛同を得て実現する。」

(柏崎刈羽原発審査合格について)「規制委の審査で安全かどうか判断すると思ったら、九州電力(川内原発)が審査に合格した時に当時の規制委員長が『合格しても安全とは申し上げない』と言いつつくりした。再稼働に対する責任がどこにあるのか分からない。」

「**原発ゼロ法案**」の実現をめざし、力を合わせましょう  
原自連の提案を歓迎。共同の輪を広げ実現めざしましょう。

## 福島原発事故から7年 ともに考える市民のつとめ 成功へ

\*パネリストのお二人は原自連の幹事です

○「つとめ」のチラシとチケットを各2枚ずつお配りします。

周りの方にも声をかけ、**参加者を広げましょう**

※参加費500円はできるだけ事前に事務局または世話人にお渡しください

◇3月4日(日)  
13:30~15:45

◇アオーレ長岡  
ホールBC

◇第1部 映画  
第2部  
シンポジウム

◇参加費 500円

◆2月の街頭行動 2月11日(日) 10:00~11:00 アオーレ前 ご参加を！◆

原発ゼロ長岡市民ネットニュース  
第73号 2018年1月20日発行

連絡先 広井洋子 長岡市寿2-5-15  
電話・FAX 24-2870  
佐藤 090-4925-3707